



本資料は、文部科学記者会、科学記者会で配布しております。

報道関係各位

令和3年4月7日
日本科学オリンピック委員会

世界で活躍できる科学系リーダーの育成活動に 豊田理化学研究所から寄附をいただきました

世界の高校生らが参加する国際科学オリンピックを通じて、将来、科学分野でのリーダーに成り得る人材の育成を推進する「日本科学オリンピック委員会」は、3月29日、公益財団法人 豊田理化学研究所より、若手人材育成の支援として1,000万円の寄附をいただきました。

日本科学オリンピック委員会は、国際的な科学オリンピック（数学、化学、生物学、物理、情報、地学、地理）に高校生等の代表を派遣する7団体が協働して優秀な科学人材育成の機運を醸成すべく2018年に結成し様々な活動を行ってまいりました。今回の寄附により、将来の日本の科学技術を担う高い能力と国際性をもつ人材育成に向けて、派遣団体、産業界、学術・教育界、行政など国を挙げた『協働』がさらに加速されます。また、2023年に国際数学オリンピックと国際物理オリンピックが日本で開催されることを見据えて、代表生徒の選考や研修などの支援活動が拡充され、科学技術人材育成の機運と科学についての国民的関心の一層の醸成が期待できます。

豊田理化学研究所は、日本の科学技術の振興開発を図り、学術・産業の発展に貢献することを目的に研究事業、研究助成事業を行っています。また2019年より若手人材育成を目的とした活動も開始しました。このプログラムの一つが、海外大学院進学支援制度です。これは科学技術分野で国際的に活躍できる人材育成を目的に、国際科学オリンピック代表選抜大会出場経験のある優秀な学生が、海外の大学院でPh.D.取得を目指すことを強力に支援しようというものです。

豊田理化学研究所では、「日本科学オリンピック委員会の活動は、将来の日本の科学技術を担う人材育成を推進するもので、当研究所が目指す若手人材育成の方針と合致します」と寄付の主旨を述べています。

日本科学オリンピック委員 運営委員会委員長 北原和夫は、「今回のご寄付を頂いたことにより、各派遣団体の活動が一段と活気づき、また科学オリンピックへの社会全体の関心が高まることにつながります。そのことによって日本の社会全体の科学・技術への関心がさらに高まり、科学技術のさらなる発展に結びつくこととなります」と、財団への感謝と今後の委員会の活動への思いを語りました。

本件に関するお問合せ先
日本科学オリンピック委員会事務局
小野寺 勝（おのでら まさる）／ラオちぐさ
電話：048-226-5665 電子メール：is-cont@jst.go.jp

参考資料

● 「日本科学オリンピック委員会」趣意

優れた科学技術は、日本の持続的発展の基盤であり、科学技術を通した国際協力の推進は、日本が世界の平和と繁栄に指導的に寄与していく道です。そのためには、分野融合や産学官連携を実現し、将来にわたって日本の科学技術を担う高い能力と国際性を持つ人材を、社会全体で育成する体制の整備が求められています。

そのような人材育成を担う重要な活動の一つが国内科学コンテストの開催と、選抜代表生徒による「国際科学オリンピック」への参加であることが、これまでの取り組みの中で明らかとなっていました。国際科学オリンピックは、科学の得意な高校生たちが、高いレベルで知識や発想を競い合う「知のオリンピック」であり、生徒のみならず指導者にとっても生涯にわたる国際協働のネットワークを構築する場であります。現在、日本からは7教科(数学・化学・生物学・物理・情報・地学・地理)に代表生徒が参加しており、2016年8月に三重県津市で開催された国際地学オリンピックを皮切りに、2023年にかけ5つの国際科学オリンピック(情報、生物学、化学、物理、数学)の日本開催が予定され、国全体として科学教育への関心を高められるような支援体制も必要とされています。

世界水準の科学教育の普及を目指す科学オリンピック7教科の実施団体は、このような状況を鑑み、『教科、産学官の枠を超えた協働』を目指して、「日本科学オリンピック委員会」の設立に合意しました。今後、同委員会はJSTの協力のもと、科学技術の将来を見据えた異分野協働と産学官連携によるオールジャパンでの科学技術人材育成を推進してまいります。また、7教科一体となった科学オリンピック活動の普及・広報を行い、協賛・支援の輪を広げる活動を進めてまいります。

同委員会発足を機会に、科学技術に関わる企業や団体、あるいは個人の、より一層積極的な参画ご協力に期待をするところであります。

● 「日本科学オリンピック委員会」メンバー(括弧内は対応する日本国内コンテスト名称と主催機関(委員会メンバー名称と同一の場合省略))

公益財団法人 数学オリンピック財団 (日本数学オリンピック)

公益社団法人 日本化学会 (化学グランプリ/「夢・化学-21」委員会、日本化学会)

公益財団法人 日本科学技術振興財団 (日本生物学オリンピック/国際生物学オリンピック日本委員会)

公益社団法人 物理オリンピック日本委員会 (全国物理コンテスト「物理チャレンジ」)

特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会 (日本情報オリンピック)

特定非営利活動法人 地学オリンピック日本委員会 (日本地学オリンピック)

公益社団法人 日本地理学会 (科学地理オリンピック日本選手権/国際地理オリンピック日本委員会)

以上